社会福祉 社会保障 は、いま ⑭

2018年度予算を読む

2018年度当初予算案が97・7兆円と発表されています。政府予算を分析するには補正予算という歳出増の抜け道や、防衛関係費のように高額な兵器を複数年で後年度負担するという方法もあって、複雑な仕組みになっています。

当初予算案をみると歳入の34・5%が国債発行（借金）になっており、国債発行残高（借金総額）は883兆円と先進国トップの借金大国になっています。なぜ倒産しないのか。国債の大量買い付けを日本銀行が行い、長期金利を抑えているからです。安倍政権の6年間で、国と地方の長期債務残高が175兆円増加し、その合計が1108兆円になる見通しです。金利上昇時のリスクを背負っているのにプライマリーバランス（基礎的財政収支）の危機感の欠如に驚きます。

当初予算案の特徴をみると、第1に、防衛費が4年連続で過去最大となり、1基1千億円弱の迎撃ミサイル等が含まれているのが目につきます。高額なアメリカの最先端兵器が順次配備される予算になっています。

第2に、生活保護費から支給される生活費が年間で最大5%減少、ひとり親世帯の母子加算も段階的に減らされます。生活保護基準は最低賃金や税制、社会保険等の最低基準になっており、非正規雇用、低所得層の生活に広く影響することから社会的弱者へ厳しい予算になっています。

第3に、介護報酬について0・54%引き上げられます。6年間にわたり、介護報酬の公定価格を引き下げられ、私たちは厳しい経営を強いられてきました。介護保険はこの数年で大きく縮小、後退、変質を見せてきました。例えば、特別養護老人ホームの入所基準を原則、要介護3以上と重度化し、入所を引き締め、利用者の身体機能の維持・改善した事例、リハビリ専門職と連携して自立支援した場合、というように軽度化させると事業者に報酬（加算）を出し、訪問介護については、「生活援助を抑制する方向を示しています。

当初予算案の「有識者」コメントを読み、気になったのは次の点です。第1に、財政赤字の原因を社会保障費の増加に求め、引き締めを主張、第2に防衛費を聖域にして語らず、第3に、プライマリーバランスに危機感が薄いということです。社会保障には、先人が長年にわたり築いた人権、平等、の思想、理念があり、平和な社会を実現するために、社会保障の充実を訴えていきたいと考えています。

大友信勝
（社会福祉法人
サンシャイン福祉振興会理事長・
聖隷クリストファー大学
大学院教授）

文芸コーナー

年重ね顔のしわほど曽孫増え　誠子

寒の水ボトルにつめて旅の宿　熊ん蜂

なまりの空ふわりふわりと地は白く　宮豆

寒椿ほほに紅さす我が年の早さ　もとみ

波乱万丈九十年今は感謝で手を合わす　成美

成程と思いし事の多くして
聞くこと見る物全てが宝　秀子

夜があけて東の空をあおぎみる
みゆるは池に我が顔かなし　志げよ

短歌 俳句 漫画 川柳

新人職員紹介

土岐磨紀子
（グループホームかわばた荘勤務）

介護の仕事は初めてで慣れないことが多く、たいへんさを感じています。

これから入居者の方の目線で対応できるように頑張っていきますのでよろしくお願いします。